

## 自動車管理(計画・変更計画書・報告)書

令和7年8月1日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)  
滋賀県草津市矢橋町23-87

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)  
有限会社エムシー企画ノア 代表取締役 藤原 啓子

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第44条第3項において準用する同条例第25条第3項・  
第46条第1項・ 第46条第2項において読み替えて準用  
第45条第1項  
第46条第2項において準用する同条例第45条第1項

第44条第3項において読み替えて準用する同条例第25条第4項  
する同条例第44条第3項において読み替えて準用する同条例第25条第4項

の規定に基づき、

自動車管理計画を 策定 (変更)  
自動車管理報告書を作成

しましたので、提出します。

### 1 事業者に関する事項

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	有限会社エムシー企画ノア 代表取締役 藤原 啓子	
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県草津市矢橋町23-87	
県内事業所数	1	事業所
県内自動車使用台数	5	台
自動車の使用に伴う 温室効果ガス排出量	22.90126667	t-CO <sub>2</sub>

### 2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	令和7	年度	終了年度	令和9	年度
報告対象年度	年度					

### 3 計画(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

## 1 自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本的な方針

当社は地球温暖化対策の重要性を認識し、自動車の使用に伴う温室効果ガス排出量の削減に努める。具体的には、電動車両(EV)の導入、運用効率の向上、エコドライブの徹底、不要なアイドリングの削減を基本方針とする。

特に、令和7年度に導入した電気自動車(BYD車両2台)を積極的に積極的に活用しつつ、老朽化した車両の段階的な更新を進め、保有車両に占めるEVの割合を現在の40%(5台中2台)から、3年後には60%(5台中3台)にすることを旨とする。

今後も再生可能エネルギーの活用や走行管理の見直しを進め、環境負荷低減に資する持続可能な移動・物流体制の構築を図る。

これにより、令和7年度から令和9年度までの3年間で、自動車使用に伴う温室効果ガス排出量を、現状比で7%以上削減することを目標とする。

## 2 取組の推進体制

当社は、自動車の温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みを推進するため、役員から1名、環境管理責任者に任命し、導入した電気自動車(EV)の活用状況や走行距離、排出削減効果について定期的に振り返る機会を設け、計画の進捗状況を確認している。

これにより、効果的な運用を促進し、必要に応じて改善策を検討・実施する体制を整備している。

備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

(第2面)

3 自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の削減に関する取組の内容

項目	取組の内容	目標達成確認指標				実施結果
		現状	目標	CO <sub>2</sub> 排出量削減目標(%)		
自動車使用の合理化	自動車ごとの走行距離、燃料消費量のデータを一元管理し、自動車利用の効率化の取組を推進	1台当たりの年間総走行距離	1万km	7千km	20%	
より温室効果ガス排出量が少ない自動車の導入	電気自動車の導入	導入台数	2台	3台	7%	
次世代自動車等の比率を増やす取組	老朽車両の更新	令和7年度の保有率	40%	20%		
従業員に対する自動車使用に伴う温室効果ガス排出削減に関する教育	従業員に対して社内掲示板や回覧、社内チャットでエコドライブについて働きかける	配信回数	0回	年4回	20%	
		上記により燃費の向上を図る	12km/L	14.4km/L		
その他の取組	電気自動車の更なる導入を積極的に検討	予算を検討	実施	継続実施		
		導入済み車両の結果を分析	実施	継続実施		
			合計		41%	

備考 現状や目標については、内容に応じ文章で表現しても構いません。